

現代の子どもの理解、学校の最新動向の体験、地域協働の実践を通して、子どもを安心して育て支える地域教育コミュニティを創る力を育む

現代の 子ども理解と これからの 教育

教職大学院 シリーズ

第1回 11月28日 土

第2回 12月12日 土

第3回 令和9年1月23日 土

時間 各回 13:00~18:00

1限目 13:00~14:30

2限目 14:45~16:15

3限目 16:30~18:00

会場 熊本大学 教育学部5-A教室

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

対象 教育に関心のある方・どなたでも

受講料
全3回

7700円

上記の価格で、
1日講座のみ 3日間全講座
でも受講可能です

<お問い合わせ> 熊本大学研究・社会連携部 地域中核事業課 公開講座担当

☎ 096-342-3144 (平日9時から16時) ✉ manabou@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学 現代の教育と地域をつなぐ学びの3日間

第1回 (11/28):

【知る】 現代の子どもの「心」と「人間関係」を理解する

八ッ塚 一郎 教授

集団心理から紐解く
令和の子どもの人間関係と
いじめ問題



SNS時代の見えにくい子どもの人間関係や、集団の力学について専門的にわかりやすく解説します。

黒山 竜太 准教授

折れない心を育てる
「レジリエンス」と
大人の寄り添い方



困難を乗り越える心の力を育むために、地域や家庭のシニア層ができる肯定的な声かけをワークを交えて紹介します。

濱平 清志 シニア教授

教師と子どもをつなぐ
コトバとココロ



永年にわたる国語科教育そして生徒指導の現場経験からコトバを通した子どもとの関わり方を再考察します。

第2回 (12/12):

【体験する】 劇的に変わる「これからの学校・授業」最前線

前田 浩志 准教授

1人1台端末で教室はどう変わった？
～子どもが主体的に学び合う授業の実践～



「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が進む最新の事例を紹介し、子どもが主体となるこれからの学びの姿を考えます。

古賀 竣也 講師

教師のデータ活用能力講座



学校でのデータ活用(授業アンケート、教育課程の評価、教職員アンケートなど)の考え方と方法について演習を通して解説します。

中山 篤 教授

「教え込む授業」から
「自ら学ぶ授業」へ
～主体的・対話的な学びのカタチ～



子供の思考を深める教師の問いかけ(発問)に着目。授業記録の作成を通して、問いかけと子供の姿から授業を捉え、授業改善につなげる視点を提示します。

第3回 (1/23):

【つながる】 安心・安全な地域教育コミュニティの創り方

古田 亮 シニア教授

変化する社会における、
学校現場の「危機管理・リスク管理」



災害、防犯、SNSトラブルなど、現代の学校が直面する多様なリスクの現状と、学校が今のような対策をとっているかを解説します。

塩津 昭弘 シニア教授

子どものウェルビーイングを高める
学校・自治体・地域の協働



熊本市の学校、教育行政に携わった経験から、探究学習、地域との連携・協働が、子どもたちの幸福(ウェルビーイング)にどう貢献するかを考えます。

太田 恭司 シニア教授

地域と学校がつながる未来



コミュニティ・スクール等について、市民と学校が一体となる方法を解説。最後は参加者同士の意見交換(熟議)で講座を締めくくります。

詳細はこちらから



お申込みフォーム
申込め切 10月20日(火)

